

広島市植物公園見どころ案内

八重寒紅 (バラ科) 日本庭園で、白梅の冬至と対の位置にある紅梅です。早咲きの品種ですが、やっと咲き始めたばかり。つぼみがふくらんでいるので、寒さがゆるめば一気に咲きそうです。

福寿草 (キンポウゲ科) 咲き始めました。でも、お天気のよときしか開きません。開花には15℃が必要だとか。咲いていても、日が陰り、気温がさがると閉じてしまいます。

節分草 (キンポウゲ科) 小さなつぼみがつぎつぎと出ています。温度で開花する福寿草と違って光に反応するらしく、晴れると開花し、日が陰ると閉じます。

シクラメン・コウム (サクラソウ科) 春に咲くシクラメンの原種です。葉は丸形です。亀の甲形の葉は秋咲きのシクラメン・ヘデリフォリウムです。どちらも、花のあとに花茎がくるくる巻きます。

アラビカコーヒー (アカネ科) 大温室のあちこちで、実が赤や黄色に色づいています。色の違いは品種の違いです。原産地は熱帯アフリカ。エチオピアでは9世紀にはすでにコーヒーが飲まれていたそうです。

オンシディウム (ラン科) 小さなチョウチョが群れているようなランです。黄色の花はよく知られていますが、チョコレート色の花をさがしてください。チョコレートの香りがあります。

冬至 (バラ科) 日本庭園にある早咲きの白梅です。このところの寒さで、ちらほら咲きのまま開花が止まってしまいました。見ごろまであと10日はほしい感じ。開花期は長く、3月末まで花を見られます。

太郎冠者 (ツバキ科) 淡いピンクのわびすけ椿です。ツバキ園一番下の段の奥にあります。別名ウラクツバキ。

ヤブツバキ (ツバキ科) 東アジアに自生する椿。日本でツバキといえばこれのこと。1本ずつ、花色や形がビヨーンに違います。咲き始めです。

アセビ (ツツジ科) 園内のあちこちにありますが、他に先がけて、ツバキ園上のここがまず咲きました。

シナマンサク (マンサク科) 枯葉が枝についたまま花が咲く中国原産のマンサクです。ほかに、赤花の園芸品種ルビーグロウやオレンジ色の品種も見ごろです。

ヒイラギナンテン (メギ科) 中国原産の2種のヒイラギナンテンの交配によってつくられた園芸品種です。黄色い花の房が立ちあがって華やかなのが特徴です。

紅冬至 (バラ科) ウメ園で最初に咲く早咲きの梅です。うす紅色の花が咲いています。ウメ園の階段をずーっとあがったところにあります。

